



発行：姫路獨協大学総務部

〒670-8524 兵庫県姫路市上大野7-2-1

TEL 0792-23-2211(代)

FAX 0792-85-0352

URL <http://www.himeji-du.ac.jp>

発行日 2005年(平成17年)6月

平成17年度入学式挙行

新入生729名を迎えて

4月5日(火)

姫路市文化センターにおいて、平成17年度姫路獨協大学入学式が行われました。

今年度は学部生653名、編入生3名、大学院生42名、法科大学院生31名、計729名の新生を迎えました。

式は学歌斉唱に始まり、続いて木村学長が獨協学園の120年余りの歴史と伝統に触れながら「姫路獨協大学は古い伝統に根ざし、全国で初めて公私協力方式によって設立された大学で、地



域社会との結びつきを非常に大事にしています。地域社会の問題に積極的に関心をもち、その活動に積極的に参加・協力するなど、この大学のキャンパスで学生生活を送るからには、この大学の良き一員であると同時にこの地域社会の良き一員でもあるように努めてほしい。グローバルな視野に立ち考えると同時に、リアルな地域に根ざした地道な行動ができる人材を育てるといのが姫路獨協大学の教育の大きな柱です。



開式までの間は、例年通り吹奏楽部による演奏が行われ、新入生は迫力ある演奏に聴き入っていました。会場の入口では上級生が新入生を待ち構え、恒例のクラブ・サークルへの勧誘活動を行っていました。入学式終了後、大学では創立15周年記念館や法



法廷教室見学

廷教室、コンピュータ演習室、図書館などの施設見学があり、多数の父母・新入生が参加されました。

2年目を迎えた法科大学院

この春、法科大学院(ロースクール)への入学者は31名でした。昨年度入学者とあわせ、現在は約70名が法律家を目指し勉強中です。法科大学院は、原則として3年制ですが、法学部出身等で法学の勉強をしてきた人(既修者)は2年間で修了することもできます。そのような短い期間で広く深く勉強するので院生も先生も頑張っています。

院生には社会人の経験をもつ人も多く、色々な経験や職歴に基づく議論が行われることもあり、法律家を目指すという人も多いためです。法学部に今年度から設けられた法律特別コースに入学した人たちは、法科大学院進学を目標としている人も多いためです。



法科大学院オリエンテーション

同じキャンパスにある私たちの法科大学院をぜひ目指してください。
法務研究科長 浦東久男

平成16年度卒業式 790名が巣立つ



「皆さんの進路はさまざまですが、暗い世の中であるからこそ、それを乗り越える逆境や挫折に負けず強い意志と逞しさを持つて生きてほしい。そして、道理の感覚を見失ってはならないといわれた獨協学園の祖である天野貞祐先生の教えを深く噛みしめてください。」続いて、獨協学園・水上市理事は「これからの人生をどう生きるのか、一人の社会人としてしっかりした自己、自分を確立し、自分の決めた目標を持つていくことが大切です。未来への限りない可能性を求めて自分の選んだ道、自分の定めた目標に、自分らしく一歩一歩確実に歩を進めてください」と式辞を述べられました。



また、卒業式終了後、ホテルサンガーデン姫路において、教員や父母を含む約800名の参加で、卒業記念パーティーが催されました。パーティーではジャグリングやクラブミュージック、応援団からのソールなどが行われ、みんなで盛大に卒業を祝いました。



卒業記念パーティー

これを受けて、卒業生総代の高野広志さん(経営情報学科)は「多くのすばらしい仲間と思い出を築き上げた四年間で、一人ひとりの力は小さくても助け合うことがどれだけ重要かを学びました。このことを財産として社会に出ても活かしていきたい」とスピーチを述べました。

得た経験を糧に今後も努力し、培ってきたものを地域に還元しなければならぬと思っています」と答辞を述べました。

広東工業大学学長講演会開催

「日中友好関係と大学の交流」

5月16日、本年より交換留学協定を結んだ、広東工業大学の張学長をはじめとする一行7名が本学を訪問されました。広東工業大学は、広東省の管轄下にある重点大学で、中国1600大学中、



トップ1000にランキングされています。なお、広東省は、兵庫県と友好関係を結んでいます。歓迎式典では、兵庫県国際交流局・丹羽局長によつて、兵庫県知事のメッセージが代読され、県からの来賓、広東工業大学、本学関係者の交流を深めました。

さらに、張学長による、「日中友好関係と大学の交流」という、和辻哲郎の文章の紹介から始まる印象深い講演が行われました。講演は、学生会館3階ホールで行われ、新聞報道の影響もあり、一般市民の聴講もあつたので、補助席も用意さ



国際交流センター長 岡田勝明

日本におけるドイツ2005/2006 ~ドイツ語キャラバンin姫路獨協大学4.12~



会場に行くとき、赤、黒、黄色のフォルクスワーゲンニュー・ビートルが来ていました。この3色はドイツの国旗の色だったので、(正確には、赤、黒、金です)会場では、世界各国にドイツとの文化交流やドイツ語教育の振興を目的に



設置されている、ゲーテ・インスティテュート(ドイツ文化センター)のパンフレットやステッカーを買いました。また、ドイツ人講師による簡単なドイツ語講座やゲームやドイツに関するクイズコーナーがあり、正解すると賞品がもらえました。私たちドイツ語学科の学生も楽しんで参加出来ました。これらのプログラムは、とても楽しく、ドイツのことをよりよく知り、普段学んでいるドイツ語を使って「コミュニケーション」を図るともよい機会となりました。今年、日本における「ドイツ年」ということで、ドイツの文化・経済等を日本で紹介しようと、今回のドイツ語キャラバンをはじめ

13:00 ~ 14:30
ドイツ・中国語・日本語・国際文化 法律学科
場所 222 D教室
内容 筆記試験対策講座 - 面接への関門、筆記試験をクリアするための基本事項を学ぶ等。

企業が筆記試験を実施する理由と判断基準
筆記試験の種類と検査する目的
SPIの実例と対策等
*当日、筆記試験対策のための推薦テキスト(就職模擬試験練習問題集 - 600円、時事用語問題集 - 600円)を販売します。是非購入して準備に取りかかろうとお勧めします。

父母就職懇談会(3年生父母対象)

日時 6月25日(土) 13:00 ~ 17:00
場所 401 D教室
内容 全体懇談会
学部、学科別懇談会

全学年の皆さんへ

次のキャリア支援講座の参加者を募集しています。

日商販売士2級コース
申込期間 7月6日まで
週2コマ 水曜日 6、7限目 全30コマ
授業期間 8月22日から

税理士講座(消費税法)
申込期間 7月31日まで
週2コマ 水曜日 7、8限目 全84コマ
授業期間 9月21日から

TOEIC 500点コース・650点コース(後期)
申込期間 7月1日~7月14日
週2コマ 木曜日 6、7限目 全20コマ
授業期間 9月29日から

TOEFL CBT 133点コース・173点コース(後期)
申込期間 7月1日~7月14日
週2コマ 火曜日 6、7限目 全20コマ
授業期間 9月27日から

資格を取得することは、大学時代に前向きにスキルアップに取り組んだ証明になります。また資格取得への取り組みが自己発見や自信につながることもなります。キャリア支援講座についての詳細は、キャリア開発センター キャリア支援課まで問い合わせてください。

キャリア開発センター からのお知らせ

就職活動中の4年次生の皆さんへ

6月に入り、就職活動をして少し疲れが出てきたり、内定が取れず焦りを感じたりしている人も多いと思います。採用を継続している企業はまだあります。諦めずに頑張りましょう! また求人情報を随時掲示しています。応募期限等がありますので見落とし、見過ごす事のないよう1週間に1回は、求人票掲示板を確認するようにしてください。

就職活動継続中の皆さんは、次の点をもう一度チェックしてみてください。

ポイント
関心のある企業には、直接出向くか、電話で来年度の採用計画を確認しましたが、必ず連絡してこちらの意思を直接伝えてください。

ポイント
最近、企業も求める人物像に合致しない場合は、採用予定数に満たなくても採用を見合わせる場合が増えており、そのような時は面接が重要なポイントになります。面接対策は、十分ですか? 面接対策等の相談にいつでも応じていますので、気軽に来てください。

ポイント
エントリーシートや履歴書による書類審査に対する準備は万全ですか。履歴書等の相談にも応じますので、提出する前に相談に来てください。

3年次生の皆さんへ

企業の採用活動が年々早まっている為、今年は4月より第1回目の就職ガイダンスを実施しました。また企業の採用基準も次第に高まっています。ほとんどの企業が実施している筆記試験の対策が不十分では、次のステップには進めません。早期から対策をしないとなかなか採用内定は獲得できません。次のガイダンスは筆記試験対策講座です。是非出席して早めに準備に取り掛かってください。

第2回 就職ガイダンス

日時 7月2日(土)
10:30 ~ 12:00
英語 経済情報・経営情報学科

人事

- 【外国語学部】
山中 忍教授 「基礎スペイン語(L)B」他
- 文 春琴教授 「コミュニケーション韓国語B」他
- 山田 幸宏特別教授 「日本語表現研究」他
- 橋本 隆夫特別教授 「ギリシャ・ラテン語(入門)」他
- 原 陽子特別教授 「スペイン・中南米文化概論」他

- 小田川 興特別教授 「韓国文化概論」他
- 成田 瑞穂講師 「コミュニケーションスペイン語A」他
- 中村 麻結講師 「韓国語学概論」他
- 道谷 卓助教授 「法学部」
「刑事訴訟法A」他
- 白出 博之特別教授 「民事執行法」他
- 金丸 義衡講師 「法学検定試験演習A」他

- 【経済情報学部】
高野 昇三特別教授 「経済学特殊講義」他
- 野上 千穂講師 「国際会計論」他
- 白井 貞夫教授 「法務研究科」
「立法実務演習」他
- 【学長付】
駒田 富佐夫教授
- 【特別教師】
J・トルテラ
G・シヨルト
M・リーフ

- 昇任(4月1日付) 教授
増本浩子、高橋健、吉本和弘(以上外国語学部)
- 助教
昌子力、中嶋佐恵子(以上外国語学部)
鑑谷宏一(経済情報学部)
- 退職(3月31日付)
神代尚志、山田幸宏、丸田博之、MTアップル、GRクロームエル、野口雅司(以上外国語学部)
戸上、高野昇三(以上経済情報学部)
- 名誉教授
神代尚志、山田幸宏(以上外国語学部)
戸上(経済情報学部)

交換留学生紹介

4月より、協定校であるマドック大学・イーデスコワン大学・西オーストラリア大学(オーストラリア)、国民大学校(韓国)からの交換留学生が本学で留学生生活をスタートさせています。



[前列左から]クワッピオナ(国)、オソンヨ(国)
バズピクリスティーン(マ)、パクユソク(国)、リュウジャウ(マ)
[後列左から]ピットサイモン(西)、ブライスダニエル(西)
ラビンジョアナ(西)、スチュワートウィンアンドリュウ(イ)

平成17年度 長期留学生募集

留学先

- 【交換留学】マドック大学(オーストラリア・パース)
- イーデスコワン大学(オーストラリア・パース)
- 西オーストラリア大学(オーストラリア・パース)
- サンシャインコースト大学(オーストラリア・プリズベン)
- 国民大学校(韓国・ソウル)
- 広東工業大学(中国・広州)

- 【派遣留学】ルイス&クラークカレッジ(アメリカ・ポートランド)
- ライプチヒ大学ヘルダー研究所インターダスドイツ・ライプチヒ)

申請書類 長期留学申請書、小論文、成績証明書、語学能力をはかる試験の結果、所属学科・専攻・研究科教員の推薦書(1通)

選考方法 第1次選考 書類選考
第2次選考 面接、小論文

応募締切 英語圏・韓国・中国：7月14日(木)16:00
ドイツ：10月6日(木)16:00

応募及び詳細については、国際交流センター(本部棟1階)まで。

課外活動報告

柔道部
第59回兵庫県柔道体重別選手権大会兼第60回兵庫県民体育大会
(4月17日：兵庫県立武道館)
60kg以下級 柴崎 秀一(経・4) 第3位

MESSAGE BOARD

教務課より

「履修確認書」の交付について
履修確認書を受け取っていない学生は、「学生証」を持って教務課窓口まで来てください。
この履修確認書は、履修登録の「控」となるので、必ず受け取り大切に保管しておいてください。

健康管理室より

整形外科の診察について
次のとおり医師が来学しますので、相談及び診察を希望する学生は健康管理室まで来てください。
診察日：7月21日(木)
14時30分～16時30分まで
(受付は16時15分まで)

図書館より

図書館の本を借りましたか
学生証に書かれた数字(バーコード)が利用者番号です。
本を借りる時は学生証を添えて1Fカウンターまで。
本を探そう。
パソコンで本が検索できます。
使い方がわからない場合は1Fカウンターまで。
ビデオを見ましたか。
PCルーム(2F)で英語字幕付きの映画ビデオが見れます。
他にもいろいろありますので、2Fカウンターで申し込んでください。
希望図書申込
求める本が図書館になく、購入して欲しい場合は1Fカウンターで申し込んでください。

文化系団体発表会 獨楽祭

～今はこれからの思い出～

5月22日(日) 姫路獨協大学で第9回獨楽祭を開催しました。今年初めての企画として軽音楽部とアコースティック部が合同で演奏しました。さらにもうひとつ芸能人にライブをしてもらおうという新しい企画を行いました。出演頂いたアーティストは「ロードオブメジャー」です。ファンレターや企画書を送り直接交渉など行い、やっと出演して頂く事が決まりました。出演が決まってから

もたくさん問題があり、何度も挫折しそうになり、投げ出したくなりました。けれどそんな時にはいつも支えてくれる役員が近くにいてみんなで必死になり、みんなで「成功」に向かって走り続けました。

本番当日、獨楽祭を成功させる為に頑張ってきたのに天候は雨。外のステージはする事ができない。みんなの心の中には「中止」という文字が浮かんだと思います。けれど、「どんな雨でもここまでやってきたんやから絶対にやったる」との仲間の言葉を聞き、みんな目が覚めたように雨の中、必死に準備をしました。そして外のステージ部門も展示部門も成功に終わり、残りは体育館のロードオブメジャーのライブだけとなりました。熱気と興奮に包まれた体育館でのライブが始まると1000人の歓声と笑顔があふれ、それを見た瞬間、一生忘れる事はないと思いました。この獨楽祭を通して学んだことは、ひとつの事をやり遂げるのはすごく大変で半端な気持ちではできない。けれどやり遂げた時はとても感動し、涙が自然と溢れてくるという事。もうひとつは、自分一人では何もできない。たくさんの人に助けられ、支えられ、励まされ、やっとひとつのモノを作り上げられるということです。私にとって獨楽祭のこの経験は大学生活で絶対忘れる事のできない経験となり、獨楽祭のキャッチフレーズ通り『今はこれからの思い出』となりました。最後になりましたが、御協力頂いた皆様のおかげで大成功に終わる事ができました。本当にありがとうございました。

文化会委員長 石田 守生(法・2)



おいでな祭

4月11日(月)、13日(水)、14日(木)の3日間にわたり、新入生歓迎「おいでな祭」を開催しました。今年とは昨年度

の反省をもとに、ガイダンス終了時を狙ってのチラシ配りや、ポスター掲示などの広報活動に力を入れました。その甲斐あってか、新入生も昨年以上に集まり、大変盛り上がりました。
学友会企画広報長 中原 亜矢(法・2)

セクシュアル・ハラスメント人権委員会からののお知らせ

セクシュアル・ハラスメントと思われる行為で困ったり悩んだりすることがあったら、相談窓口(大学院課)またはセクシュアル・ハラスメント人権委員に相談してください。相談は、直接会いに行く、電話、e-mailのいずれの方法でも結構です。相談者のプライバシーは厳守され、相談することによって不利益になることはありません。相談窓口[学生担当] 大学院課(中山) TEL: 0792-23-0901 e-mail: help-sh@himeji-du.ac.jp

セクシャル・ハラスメント人権委員会委員

伊井 健一郎 (外国語学部教授)	0792-23-1968 e-mail yiken@himeji-du.ac.jp
ストレイン 園子 (外国語学部教授)	0792-23-1973 e-mail sonia@himeji-du.ac.jp
森 敏生 (法学部助教授)	0792-23-0900 e-mail toshio@himeji-du.ac.jp
吉田 稔 (法学部助教授)	0792-23-0905 e-mail m-yosida@himeji-du.ac.jp
大野 尚弘 (経済情報学部助教授)	0792-23-9173 e-mail ohno@himeji-du.ac.jp
松村 雅代 (経済情報学部講師)	0792-23-6582 e-mail massy@himeji-du.ac.jp
重枝 一喜 (総務課長)	0792-23-9188 e-mail ikki@himeji-du.ac.jp
松井 睦治 (教務二課長)	0792-23-0931 e-mail matsui62@himeji-du.ac.jp
小野田 茂子 (総務課課長補佐)	0792-23-6509 e-mail onoda@himeji-du.ac.jp
中山 章子 (大学院課長)	0792-23-0901 e-mail nakayama@himeji-du.ac.jp

注)委員が変わる場合は、そのつど下記ホームページでお知らせします。ホームページには、「セクシュアル・ハラスメント防止に関するガイドライン」を掲載しています。
ホームページアドレス <http://www.himeji-du.ac.jp/office/help-sh.htm>

異文化理解研修

スタート!!

2005年度から、1年次に約2週間の海外での異文化体験を重視した「異文化理解研修」を実施し、外国語学習に対するモチベーションと意欲を刺激します。外国語学部(日本語学科A・スペイン・韓国語学科は除く)は原則として全員参加、法・経済情報学部は選択科目になります。さらに、2年次以降に、より実践的な語学運用能力の向上と異文化適応能力の涵養を図る「海外短期語学研修」が実施されます。

(2005年度予定)
ドイツ語：ゲーテ・インスティテュート(ドイツ) 2006年2～3月
英語：SEAMEO Regional Language Centre(シンガポール) 2006年2～3月
中国語：北京大学(中国) 2006年2月下旬

第3回

海外短期語学研修

本場のラグビーを生で見て感動!
日本と海外を繋ぐ仕事に就きたい。

ワイカト大学
ニュージーランド

英語学科 3年
沖田 文恵
授業では英語の演劇や紙芝居を自分たちで考えて発表しました。今回の研修を通して自分としては行動力と発言力が成長出来たと思います。本場のラグビーを生で見たことが、とても印象に残っています。将来は日本と海外を繋ぐ関係の仕事に就きたいと思います。



オーストラリアの日本語教育に触れ、
将来のことを真剣に考えるようになった。



マードック大学
オーストラリア

日本語学科 4年
山森 泉
オーストラリアの日本語教育は独特で、「学習を手助けする」感じでした。先生からは「文法を気にせず発言しなさい」とご指導が。模擬授業を体験し、学習者のことを理解する大切さを感じました。そして、もっと英語力を身につけ海外で日本語教師になりたい、オーストラリアの日本語教育に携わりたいと思うようになりました。

積極的にドイツ語を使う大切さを実感。
ドイツに触れる機会を増やしたい。

ゲーテ・
インスティテュート
ドイツ



ドイツ語学科 3年
櫻小路 友江
授業を通して、分からないことは素直に主張し何度も尋ねることが大切だと知りました。クラスのさまざまな年代の人と話をして異文化に触れる中で、積極的にドイツ語を使う大切さを実感しました。今後は研修中に知り合った人たちと交流を続け、ドイツに触れる機会を増やし、長期留学にも挑戦したいと思っています。

毎日英語に触れ、「日本」に対して
より興味を持つようになった。

モナッシュ大学
オーストラリア

国際文化コミュニケーション
専攻 4年
福留 拓哉
多くの英語を聞いて耳を鍛えようとラジオを聴いたり日記を書いたり、いつも英語に触れていました。そして、文化やその文化に生きる人々と触れ合う喜びを実感しました。英語を色々な角度から考えるようになり、「日本」に対してより興味を持つようになりました。何事も続けることが一番大事なことだと思いました。



中国語を使って会話が出来た喜び。
もっと中国のことを知りたい!!

北京大学 中国



中国語学科 3年
岸元 理恵
最初は先生や現地の方の言われることがわからなかったのですが、徐々に聞き取れるようになりました。入学後始めた中国語で実際に話が出来た時は中国語を勉強して良かった、もっと話せるようになりたいと嬉しく思いました。中国の色々な知識を身につけ、将来は中国語を使って働ける仕事に就きたいです。